

連合岩手・県北地域協議会ニュース

2018年2月15日 **N014**

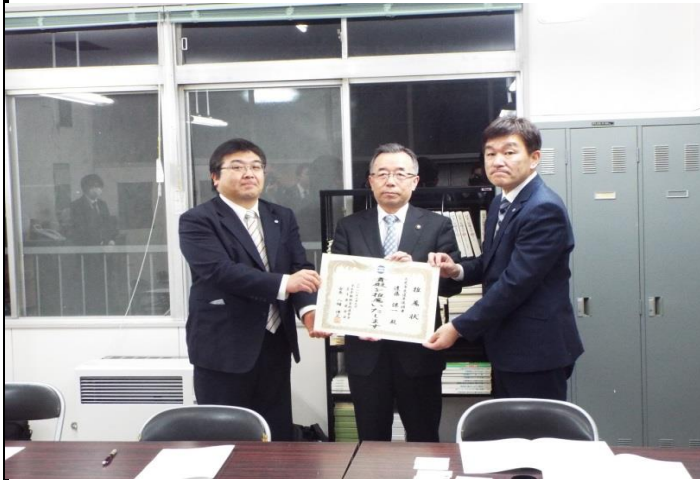
政策協定締結・調印式

3月11日告示・18日投開票で施行される久慈市長選挙では、現職 遠藤譲一候補予定者から推薦要請を受け、1月30日の県北地域協議会第2回幹事会で推薦決定し、2月9日の連合岩手第299回執行委員会で連合岩手として推薦決定し、第42回地方委員会で承認を得ました。

2月15日に久慈市内で現職の遠藤譲一候補予定者・連合岩手・連合岩手県北地域協議会は東日本大震災からの復興・再生をさらに加速していくことと、労働環境の整備の促進など様々な課題の実現に対し勤労者、地域住民の意見を十分に反映した行政、経済の健全な発展に向けた施策の展開を行う事で政策協定を締結し、調印式を行い推薦状の交付をいたしました。

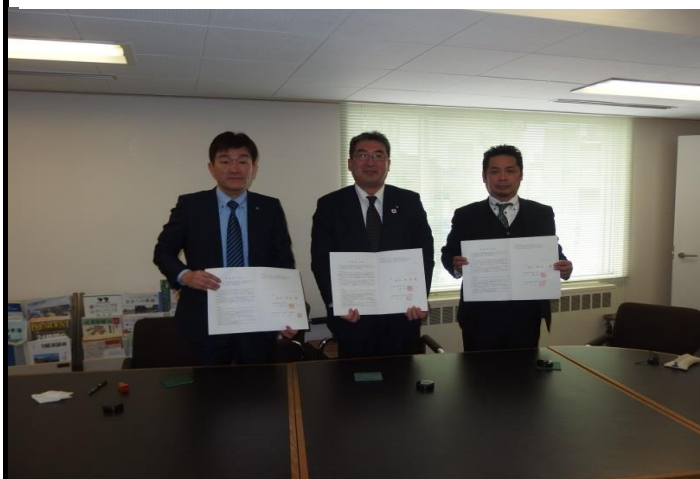
左から県北地域協議会議長 中田茂
久慈市長 遠藤譲一
連合岩手会長 八幡博文

当日は岩手友愛会と民社協会も政策協定を締結しました。右側から民社協会副幹事長の岩城元、岩手友愛会会長の石川昌平。



2月6日は一戸町長 田中辰也と連合岩手・連合岩手県北地域協議会と政策協定を締結し調印式を行いました。地域課題に対し連合岩手と県北地域協議会と協力・協調関係を保ちながら定期的な協議の場を設定する事を確認しました。

左から連合岩手会長 八幡博文 一戸町長 田中辰也 県北地域協議会事務局長 坂本敏美



労働3団体主催

《 遠藤市長と語る会 》

2月15日の18:30から連合岩手県北地域協議会・平和環境久慈地区センター・久慈地区友愛会の労働3団体の主催で「遠藤市長と語る会」を開催しました。最初の30分で遠藤市長からの報告を受け、次の30分でグループ討議を行い、今後4年間に対する意見や質問等を取りまとめました。質問・意見の発表と、それに対する回答にそれぞれ30分ずつとし、最終的に2時間以上となる充実した語る会となりました。質問・意見には商店街・駅前ビル活用・バス運行・川原の堤防・道路の処理・市政貯金と借金に関わる事・Jアラートなど様々なことが各グループから発表され、遠藤市長からはそれぞれに具体的に答えていただきました。遠藤市長の市政2期目に向けて、全員で取り組んでいくことで閉会しました。

開会にあたり、活発なグループ討議に期待をよせる県北地域協議会の中田茂議長挨拶。



市長4年間の実績と今後の方針説明とグループ討議からの質問に答える遠藤讓一市長。

短い時間の中で各グループの積極的に取り組み、時には遠藤市長も交じていました。



青年委員会結成委員会の三浦邦広 事務局長



県北地域協議会の三浦健二幹事

